様式１号の２の３３

移動式室内足場の調書

**型式：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　第　　種**

寸法単位(㎜)

|  |  |
| --- | --- |
| 形式区分 | ①脚柱により使用高さを調節できるもの。　　　②脚柱の横桟により使用高さを調節できるもの。　　　③脚柱台車部が作業床と分離できないもの。 |
| 材料・寸法 | 構成部分 | 材料・直径・肉厚・板厚・板幅 |
| 脚柱台車部 | 脚柱わく | 脚柱差込式にあっては主材はり材けた材桟材横　　　 桟斜材方杖及びヒンジ材ボルト、ナット及びピン | 部材名　（　　　） |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 部材名　( ) |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 部材名　( ) |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 部材名　(　　　) |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 部材名　(　　　) |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 部材名　(　　　) |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 部材名　(　　　) |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 部材名　(　　　) |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
|  脚輪 | 主軸及び車軸 |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| フォーク |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| タ　イ　ヤ |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
|  作業床部 | 床材 |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 布　　　　材 |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| は り 材 |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |
| 根 太 材 |  | 抜取現品 |  |
| 前回抜取品 |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 構造 | 筋かい材 | 有　　　　　無 | 脚柱の開き止め | 有　　　　　無 |
| 　手すり柱、手すり、中桟等 | 　　　　　有　　　　　無 |
| 脚柱の数 |  | 車輪の数 |  |
| 脚輪の接合方法 |  | 差込み長さ（抜け止めのないもの） |  |
|  主軸間の距離 | ①桁材方向 | ②はり材方向 |
| 作業床部の大きさ | ①長さ | ②幅 |
| 作業床部の高さ | 最大使用高さ | 最小使用高さ |
| 最大積載荷重 | 　　　　　　　　　　　　　　　㎏ |
| 表示 |  |

（備考）

(1)　材料・寸法欄の「材料」には、更新申請時には実際に使用する材料をすべて列記すること。また、今回申請（抜取現品）、及び前回申請時（前回抜取品）の使用材料についてそれぞれ記載すること。

　　 新規申請時には今回申請（抜取現品）の使用材料を記載すること。

　「直径」、「板厚」及び「板幅」は、複数の材料を使用する場合は対応する材料ごとに全てを記載すること。書ききれない場合は、別紙とすること。

(2)　表示欄には、製造者名（略号）、製造年及び上期・下期の別等の、機材に表示される刻印を記載すること。

(3) 本調書に添付する図面は、製作図（上記記載事項のほか、性能に関係のある部分についても、材料、寸法、形状等を示すこと）を３部（更新は２部）とすること。